

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2005-338220(P2005-338220A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-154334(P2004-154334)

【国際特許分類】

**G 0 3 G 15/20 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 2

G 0 3 G 15/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月22日(2007.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本例の画像形成装置は、記録材に未定着画像を形成する作像手段と、未定着画像を記録材に定着させる定着手段とを有する画像形成装置である。より具体的には、電子写真方式を用いて、イエロー、シアン、マゼンタ、ブラックの4色のトナー像を重ね合わせることでフルカラー画像を得る装置あり、プロセススピードは90mm/sec、一分間の印字枚数はU.S.レターサイズ紙で16枚である。また、一枚目プリント(First Page Out)までの時間(FPOT)は約15秒である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

ヒーターホルダー17は、耐熱性の高い液晶ポリマー樹脂で形成し、ヒーター19を保持する支持部材と、定着ベルト20の内側に配置され定着ベルトの回転をガイドするガイド部材の役割を果たす。本実施例においては、液晶ポリマーとして、デュポン社のゼナイト7755(商品名)を使用した。ゼナイト7755の最大使用可能温度は、約270である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

定着フランジ21は樹脂材料、本実施例ではPPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂製の環状短筒状の成形部材である。端部ホルダー25もPPS樹脂により形成されている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 7 】

定着ベルト 2 0 の全長  $L_{20}$  ( 図 4 ) は加圧ローラ 2 2 の定着ベルト 2 0 に対する当接部長さ ( 定着ニップ部 N の長手長さ )  $L_{22}$  よりも大きく設定してある。